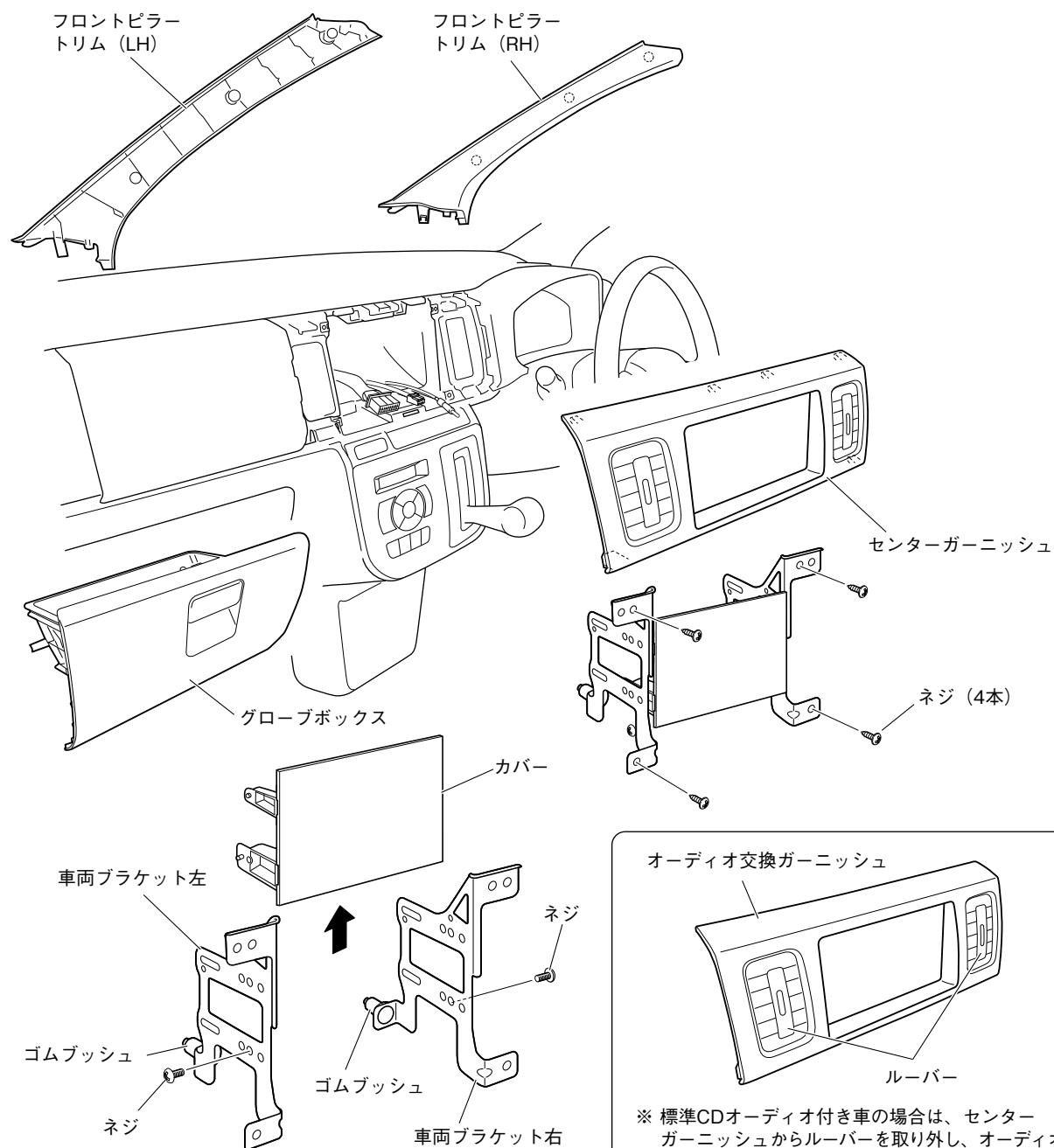


# ■ アルト

## 1. 車両部品の取り外し

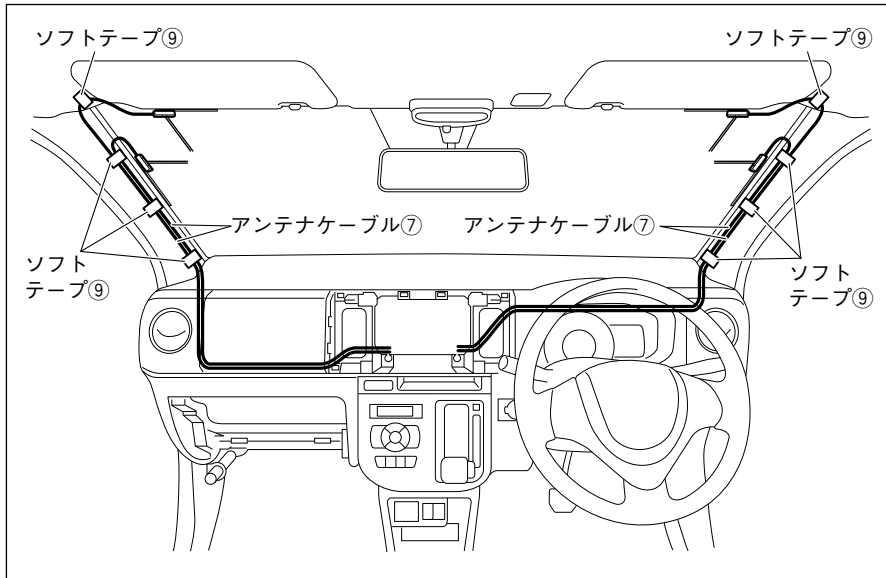


### ▲ 注意

- 車両ブラケット左右のゴムブッシュがはずれていないことを確認してください。
- 作業を始める前に、必ずシフトノブを最下段 (Lレンジ) にしてください。

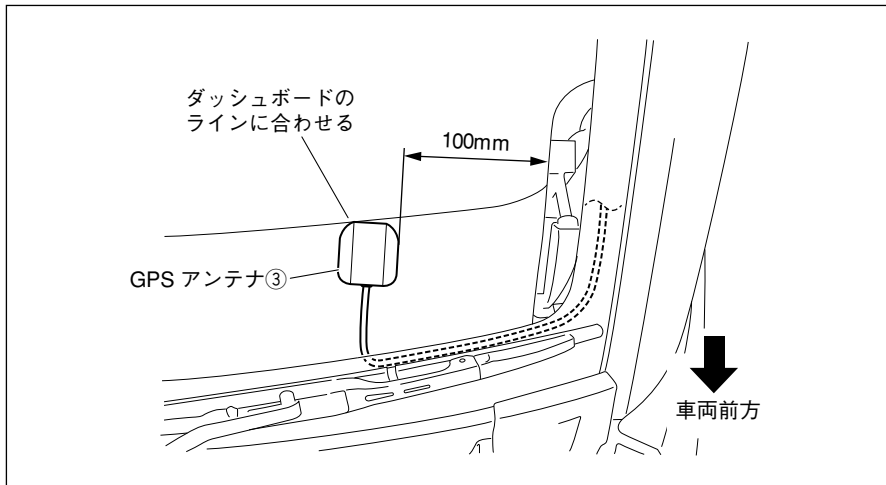
1. フロントピラー トリム (LH/RH) を取り外します。
2. センターガーニッシュを取り外します。(クリップ7箇所)
3. 車両ブラケット左右を取り外します。(ネジ4本、オーディオコネクター、アンテナコネクター)
4. 車両ブラケット左右からカバーを取り外します。(ネジ2本)
5. グローブボックスを取り外します。

## 2. TV アンテナの配線と固定



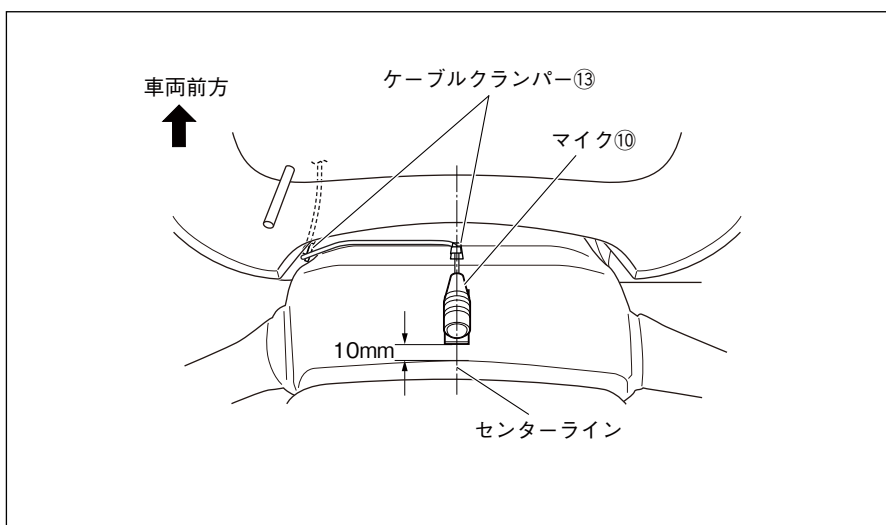
1. ソフトテープ⑨で固定しながらアンテナケーブル⑦を配線します。

## 3. GPS アンテナの取り付け



1. GPSアンテナ③を左図の位置に取り付けます。

## 4. マイクの取り付け

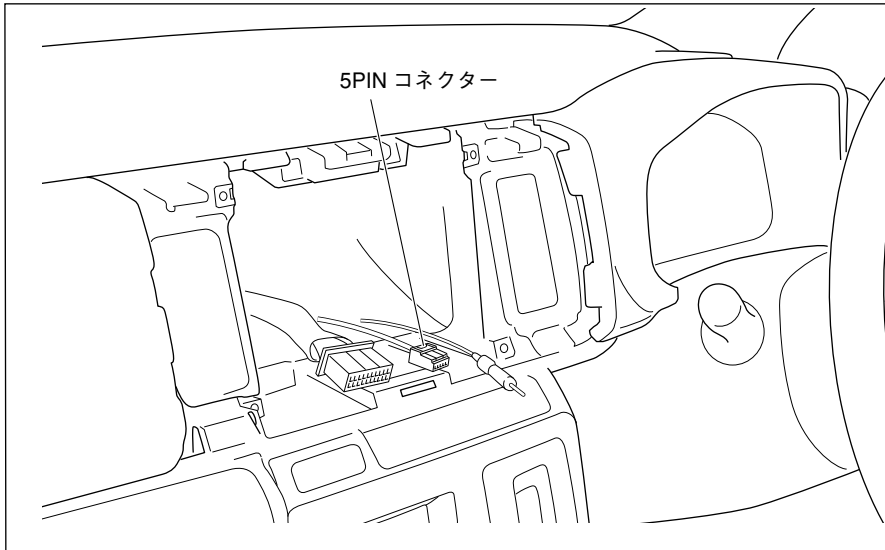


1. マイク⑩を左図の位置に取り付けます。
2. マイク⑩のケーブルをケーブルクランプ⑬で固定します。

### 注記

配線終了後、ステアリングのチルト操作等を行い、マイク⑩のケーブルと干渉しないことを確認してください。

## 5. 車速信号、パーキング信号、バック信号の取り出し

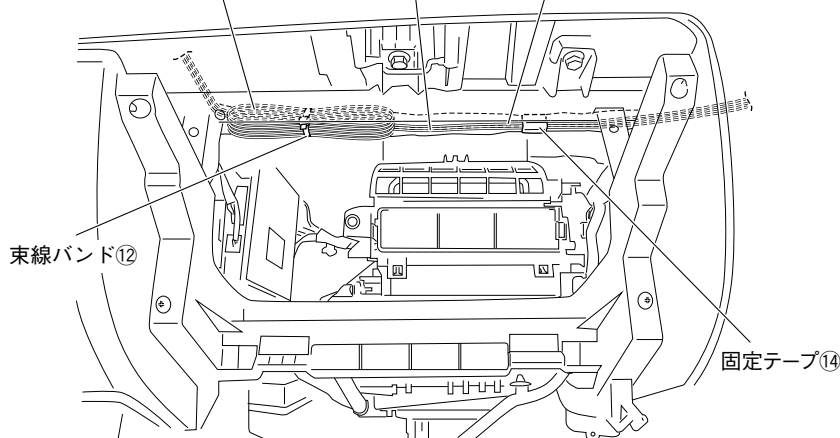


1. 5PINコネクターの線が車両ハーネスにテープで固定されているので、このテープを外します。
2. 5PINコネクターを引き出します。
3. 結線図を参照して、5PINコネクターと電源ハーネス②のコネクターを接続します。

## 6. 配線

### <助手席側：グローブボックス取り付け部奥の配線>

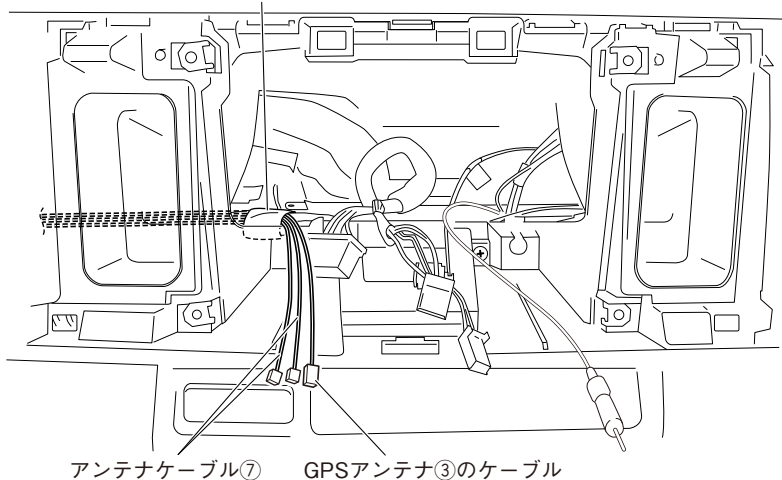
GPSアンテナ③のケーブルと  
アンテナケーブル⑦の余長  
アンテナケーブル⑦  
(2本)  
GPSアンテナ③  
のケーブル



1. GPSアンテナ③のケーブルとアンテナケーブル⑦2本をダッシュボード助手席側からグローブボックス取り付け部奥を通して、ナビゲーション取り付け部まで配線します。ケーブルは固定テープ⑭で車両ハーネスに固定し、余長は束線バンド⑫で車両ハーネスに固定します。

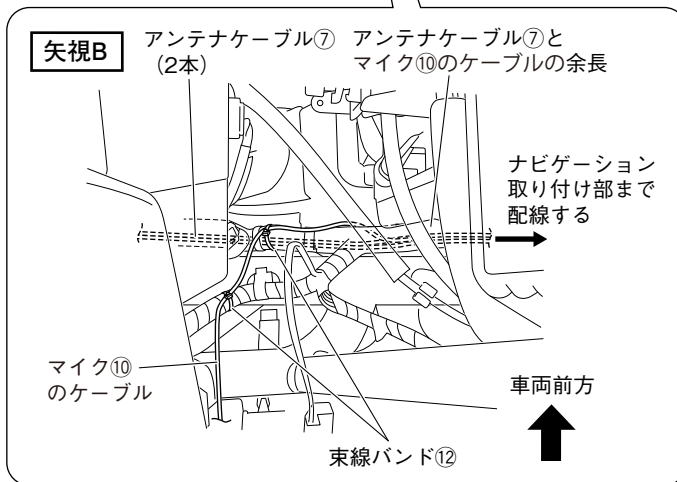
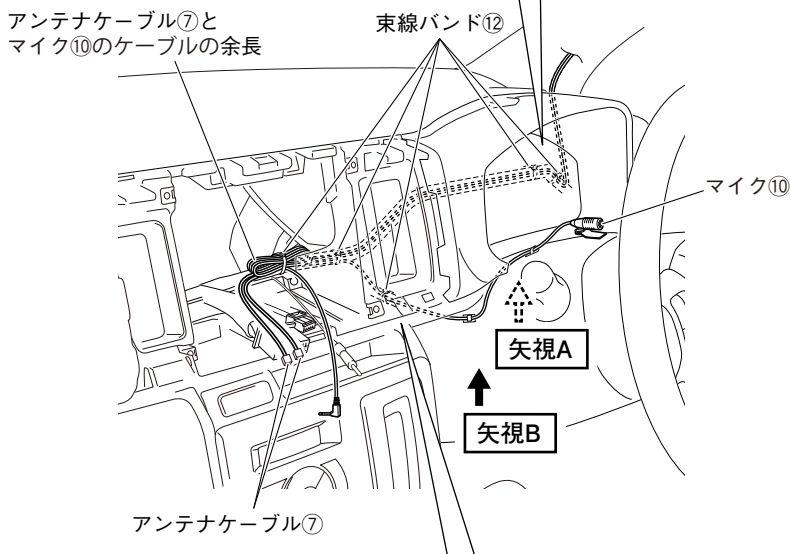
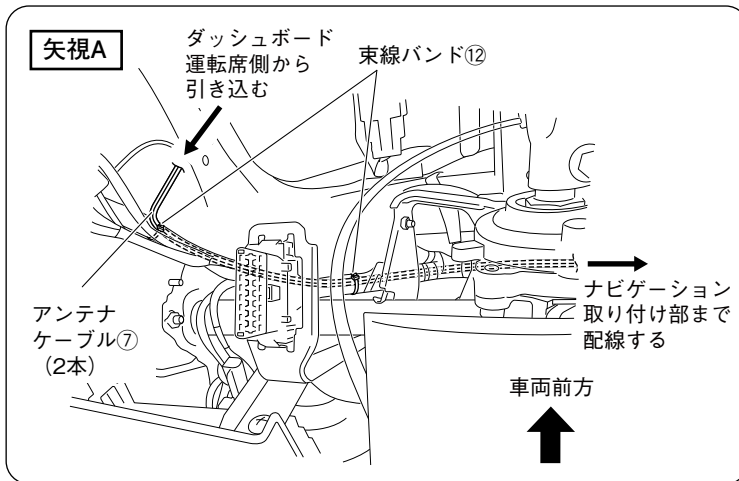
### <ナビゲーション取り付け部の配線>

固定テープ⑭



2. GPSアンテナ③のケーブルとアンテナケーブル⑦2本を、固定テープ⑭で車両ハーネスに固定します。

## <運転席側：メーター裏の配線>

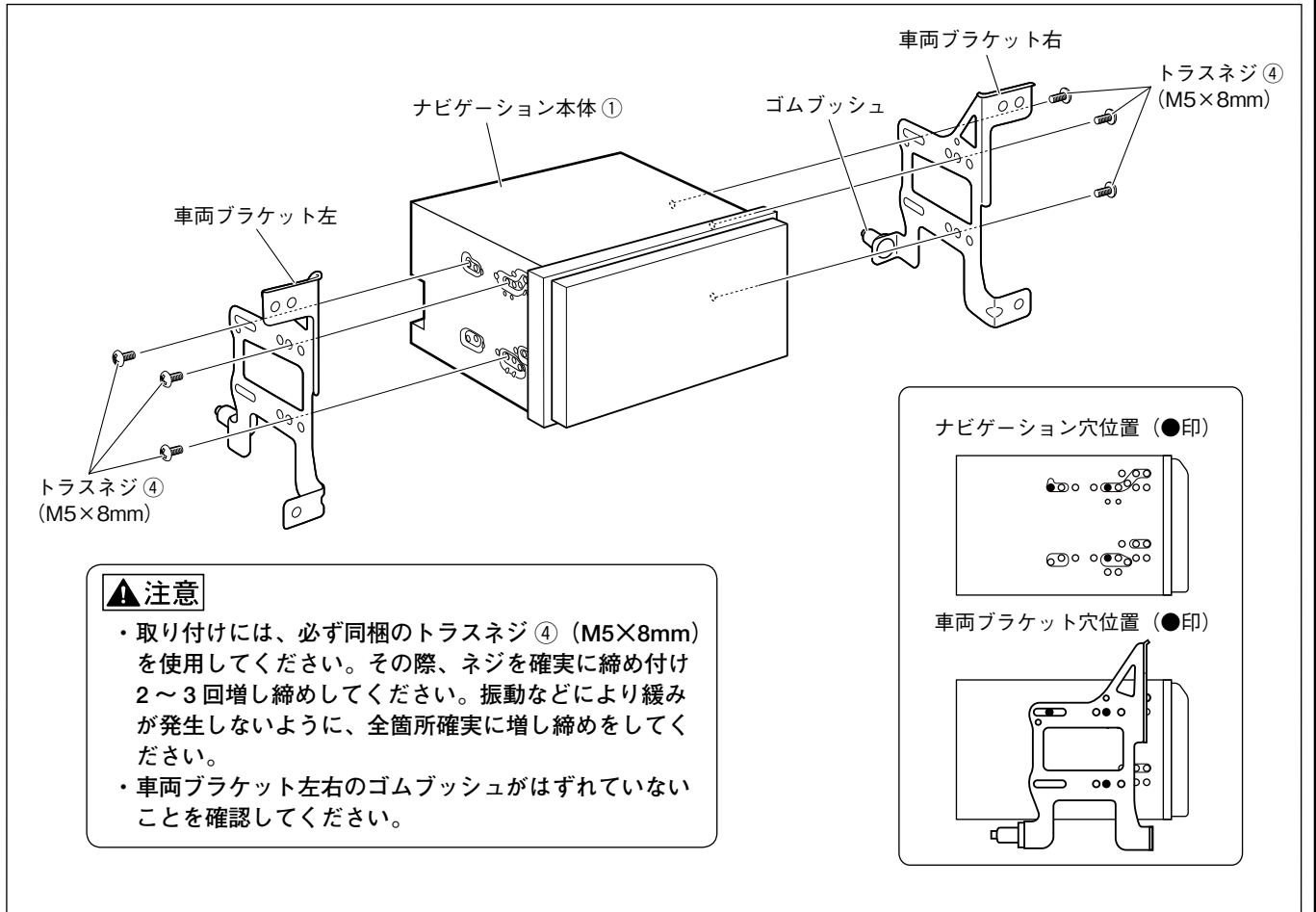


- アンテナケーブル⑦2本をダッシュボード運転席側からメーター裏を通して、ナビゲーション取り付け部まで配線します。  
アンテナケーブル⑦2本は束線バンド⑫で車両ハーネスに固定します。  
マイク⑩のケーブルを図のように配線し、束線バンド⑫で車両ハーネスに固定しながら、アンテナケーブル⑦と一緒にナビゲーション取り付け部まで配線します。  
余長は束線バンド⑫で車両ハーネスに固定します。

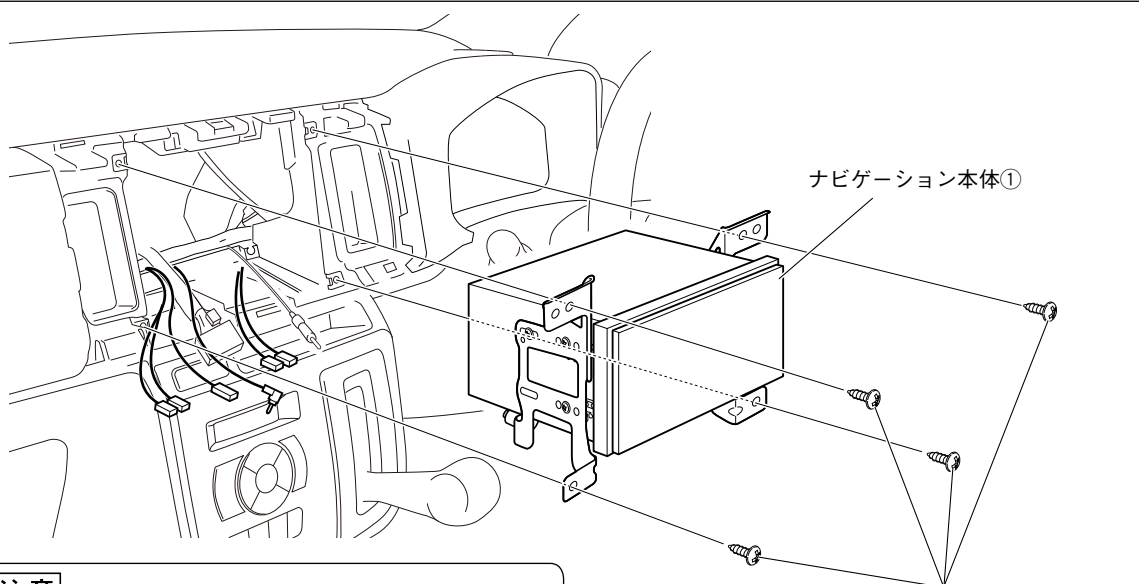
### ▲注意

ケーブル類をはさみ込まないようにしてください。

## 7.ナビゲーションの取り付け



1. ナビゲーション本体①に車両ブラケット左右を取り付けます。



**注意**

車両ブラケット左右のゴムブッシュがはずれていないことを確認してください。

「1.車両部品の取り外し」の  
手順3で取り外したネジ

2. 結線図を参照して配線を接続します。
3. ナビゲーション本体①を車両へ取り付けます。  
その際、ナビゲーション本体①から出ているUSBケーブルをグローブボックス側へ配線します。(共通編P20を参照してUSBケーブルの取付を行ってください。)
4. ナビゲーション本体①を車両から取り外したネジで車両に取り付けます。取り付ける際はゆるみのないよう締め付けてください。また、ネジおよび指示なきボルトは、がたや破損が発生しないトルクで締め付けてください。

**アドバイス**

- ・ハーネスやケーブルをコンソール内の空いている方に逃がすようにして取り付けてください。ナビゲーション本体①の裏側に固まっていると取り付けできない場合があります。
- ・ゴムブッシュ付近にケーブルやコードが掛からないようにして取り付けてください。ケーブルやコードを挟み込んだり、取り付けできない場合があります。

- コード類を配線する際は、下記の点に注意してください。

**警告**

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コード類の配線時に金属部と接触するところは、絶縁テープを巻く  
コード類の被覆が切れて金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

## 8. 車両部品の復元

1. 取り外しと逆の手順で取り付けます。

**注記**

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認してください。  
車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。

- ネジの締め付けトルクが規定されているものがある場合は、規定のトルクで締め付けてください。